

## 御荘文化センター 図書室だより



発行\*御荘文化センター図書室 発行日\*令和4年4月1日

- ・春の陽気と共に、あたらしい年度がスタートしました。「御荘文化センター図書室だより」も昨年度の発刊から丸1年を迎え、これからも新刊図書の紹介など図書に関するお知らせを、みなさまにお伝えできればと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。
- ・一方、地球の裏側、ヨーロッパではロシアとウクライナが戦争を続けています。多くの兵士や住民に犠牲がでており心が痛みます。遠い異国のこととはいえ、グローバル化社会の中では経済などで日本にも深刻な影響が及んでくるのが容易に想像できます。また、考えたくはありませんが、核戦争の脅威もにわかに現実味を帯びてきました。一刻も早い和解が望まれます。
- ・図書のリクエストにもありましたので、すこし戦争に関する図書を購入しました。今一度、戦争と平和について考えてみてはいかがでしょうか。

## 4月

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

## 利用案内

【利用者カードが作れる人】

愛南町在住、在学、在勤の全年齢

※初めての貸出する方は、利用者登録をしてください。

【貸出期間】 2週間

【貸出冊数】 3冊まで

詳細は「御荘文化センター図書室の利用案内」をご覧ください。

【開室時間】 9時～17時/平日夜間開放中は20時まで

【休室日】 火曜日(火曜日が祝日の場合は、翌開室日が休室)、年末年始、選挙投票日

# 新着図書紹介

- 『少女たちの戦争』中央公論新社/編  
『「報道写真」と戦争 1930-1960』白山真理  
『「戦跡」の戦後史-せめぎあう遺構とモニュメント-』福間良明  
『ヒットラーのむすめ』ジャッキー・フレンチ/作 さくまゆみこ/訳  
『絵画の政治学』リンダ・ノックリン/著 坂上桂子/訳  
『ロミオとジュリエットと三人の魔女』門井慶喜  
『小説の惑星 オーシャンラズベリー篇』伊坂幸太郎/編  
『小説の惑星 ノーザンブルーベリー篇』伊坂幸太郎/編  
『文庫 生き物の死にざま-はかない命の物語-』稲垣栄洋  
『荻原規子の源氏物語 全帖完訳セット』紫式部/作 荻原規子/訳  
『エチュード春一番 第一曲 小犬のプレリュード』荻原規子/著 丹地陽子/絵  
『エチュード春一番 第二曲 三日月のボレロ』荻原規子/著 丹地陽子/絵  
『エチュード春一番 第三曲 幻想組曲 [狼]』荻原規子/著 丹地陽子/絵  
『自由研究には向かない殺人』ホリー・ジャクソン/著 服部京子/訳  
『稲垣足穂 飛行機の黄昏』稲垣足穂  
『岡潔 数学を志す人に』岡 潔  
『串田孫一 緑の色鉛筆』串田孫一  
『寺田寅彦 科学者とあたま』寺田寅彦  
『朝永振一郎 見える光、見えない光』朝永振一郎  
『田辺聖子 十八歳の日の記録』田辺聖子  
『黒牢城』米澤穂信  
『はじめての考古学』松木武彦  
『「日本」ってどんな国?』本田由紀  
『屋根に上る』かみやとしこ/著 かわいちひろ/絵  
『母親からの小包はなぜこんなにダサイのか』原田ひ香  
『絶対名作! 十代のためのベスト・ショート・ミステリー 学園ミステリー』恩田陸 米澤穂信 青崎有吾  
『バナナの魅力を 100 文字で伝えてください-誰でも身につく 36 の伝わる法則-』柿内尚文  
『おっさんの掟-「大阪のおばちゃん」が見た日本ラグビー協会「失敗の本質」-』谷口真由美  
『まいごのたまご』アレックス・ラティマー/作 聞かせ屋。けいたろう/訳  
『そして誰もいなくなった』アガサ・クリスティー/著 青木久恵/訳  
『不思議の国のアリス』ルイス・キャロル/作 ロバート・イングペン/絵 杉田七重/訳
- 『九十八歳。戦いやまず日は暮れず』佐藤愛子  
『ひとまず上出来』ジェーン・スー  
『彼女が最後に見たものは』まさきとしか  
『読んで、旅する。』伊集院静  
『つくるたべるよむ』本の雑誌編集部/編  
『まずはこれ食べて』原田ひ香  
『おはようおかえり』近藤史恵  
『朱より赤く-高岡智照尼の生涯-』窪美澄  
『落下流水』鈴木るりか



## 『ヒットラーのむすめ』

ジャッキー・フレンチ/作 さくまゆみこ/訳 Y933.6/フジ

スクールバスを待つ間に、アンナがはじめた「お話ゲーム」は、ヒットラーの娘の話だった。もし自分がヒットラーの子どもだったら、戦争を止められたらどうか…?

(引用：出版書誌データベース)